

第 1 1 5 回城山地区まちづくり会議全体会結果

日 時：令和 7 年 3 月 1 8 日（火）

午後 7 時～午後 9 時 4 5 分

会 場：城山総合事務所本館 2 階 B 会議室

出席者：2 0 名（欠席 5 名）

傍聴者：1 名

1 開 会 内山所長

2 代表あいさつ 小島代表

3 議 題

（１）市に対する質問事項について

令和 7 年 1 月に市の各担当課に依頼した市に対する質問事項について、各担当課からの資料 1－1・2 のとおり回答があった旨事務局から報告がされた。

《 主な意見 》

- ・市からの回答は「今後検討する」という内容ばかりだが、裏を返せば現在は検討していないということだと思う。このような内容では困る、ということを担当部署に伝えてほしい。具体的に、いつ検討の土俵に上がるのか、いつまで検討が続くのか、一歩進んだ内容にしてほしい。
- ・要望は続けることが大事なので、検討するという内容であっても定期的に要望し続けた方がよい。
- ・歩道の整備については、整備計画の優先整備箇所に位置付けられていないということだが、優先整備箇所の一番下の順位でもいいので、まずは優先整備箇所に位置付けてもらうよう、要望し続けることが大事である。
- ・事故が起きてからでは遅いが、行政は事故が起きないと行動を起こさない傾向がある。大変危険な歩道だと思う。

（２）令和 7 年度の城山地区まちづくり会議開催日程などについて

令和 7 年度の城山地区まちづくり会議の開催日程について事務局から説明がされた。また、任期中に各団体の都合により委員の変更がある場合は、資料 3 の「城山地区まちづくり会議委員の変更について」を事務局に提出するよう説明がされた。

（３）城山地区で具現化していく取組について（部会検討）

全体会では、事務局から資料４、資料５に基づき、各部会での検討事項の説明がされ、全体会終了後に各部会に分かれ検討を行い、各部会検討終了後解散となった。

（４）その他

中野委員から、令和７年３月２９日（土）津久井湖城山公園水の苑地で開催される津久井湖さくらまつり（水の苑地）について話があり、ステージや出店等、充実した内容になっているので、ぜひ足を運んでほしい旨の話があった。また、林委員から、そのイベント内で４月から本格運行に移行するグリーンスローモビリティの出発式を行うので、ぜひ参加してほしい旨の話があった。

４ 閉 会 高野副代表

以 上

【全体会終了後の各部会での検討内容】

●高齢者とともに築き支える地域づくり部会

これまで部会で検討してきた「しろやま☆おせっかい」の取組として、おせっかいの輪を広げる「おたがいさまの縁づくり」を城山地区で実施してきたが、その振り返りを行った。また、各地区で参加者の意見を聞いて作成しているおせっかいスゴロクについて、全戸配布する方法を検討した。

《 主な意見 》

- ・「おたがいさまの縁づくり」に参加していただいた方には、おせっかいのバンダナを配布し、城山地区のためにおせっかいをするメンバーとして、これからも連絡を取り合っていきたい。
- ・今後は、おせっかい風土をさらに広めるため、バンダナを配布したメンバーを中心に、情報交換等のおせっかいの取組を続けていきたい。
- ・部会としての活動は、今回おせっかいスゴロクを配布することで一区切りとし、今後もそれぞれのメンバーがおせっかい活動を継続していく。

●子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

これまで部会で検討、実施してきた取組「あつまれ～ しろやまっこ！」の地域活性化事業交付金申請のための事業計画書（案）及び収支予算書（案）についての検討を行った。その結果、一部修正し、地域活性化事業交付金の申請を行うこ

ととなった。また、来年度の１回目の事業、５月１７日（土）開催に向けて実施内容の検討を行った。

《 主な意見 》

- ・ １回目のモルック体験会に人を集めることも大事だが、子どもが主体的に事業に関わる２回目の事業に向けて、１回目の結果を活用し、２回目に繋がる内容にするべきだと思う。
- ・ 大人主導の事業ではなく、子どもの意見を取り入れた事業を実施することがこの部会の趣旨だと思うので、その視点を忘れずに実施する必要がある。
- ・ 事業に参加した大人も、子どもの主体性を育むという思いを持って子どもに接してもらいたいので、大人に対して事業の趣旨を説明する時間を設けた方が良い。
- ・ 来年度の「あつまれ～しろやまっこ！」について、５月１７日（土）開催に向けてポスターを掲示する予定だったが、ポスターでは集客力が弱いので、チラシを配布した方が良い。
- ・ チラシは津久井湖さくらまつり（水の苑地）で配布することとし、自治会の回覧や各小学校への配布も行うこととする。

以 上

第115回城山地区まちづくり会議出欠席者名簿

任期: 令和6年4月27日～令和8年4月26日

番号	分野	団体名	役職等	委員氏名	出欠
1	地域関係	城山地区自治会連合会(会長)	代表	小島 盛生	出席
2		城山地区自治会連合会(副会長)	副部会長①	林 和博	出席
3		城山地区自治会連合会(副会長)		中野 秀人	出席
4		城山地区自治会連合会(川尻小学校区)		井上 貢一	出席
5		城山地区自治会連合会(湘南小学校区)		西川 正行	出席
6		城山地区自治会連合会(広陵小学校区)		安西 忠義	欠席
7		城山地区自治会連合会(広田小学校区)	副部会長②	小原 貴弘	出席
8	保健・福祉関係	城山地区社会福祉協議会		井上 章	出席
9		城山地区民生委員児童委員協議会	副代表	菅野 敬子	出席
10		城山地区シニアクラブ連合会		依田 和光	出席
11		相模原市赤十字奉仕団城山分団	部会長①	宗田 眞理子	出席
12		城山地域包括支援センター		藤瀬 香理	出席
13	産業・経済関係	城山商工会		平栗 文夫	出席
14		城山観光協会		櫻井 かおる	出席
15	防犯・防災関係	安全・安心まちづくり推進協議会城山支部		小野寺 義行	出席
16		相模原市消防団北方面隊		田野倉 隆彦	欠席
17	教育関係	城山公民館運営協議会	副代表	高野 朝枝	出席
18		PTA連絡協議会城山ブロック協議会		田中 友紀	欠席
19		城山体育振興協議会		松木 昇	出席
20		城山地区小中学校長情報連絡会		鈴木 満博	出席
21		特定非営利法人 城山スポーツ&カルチャクラブめいぷる		片倉 理恵	出席
22		神奈川県立相模原城山高等学校		小松 巖	欠席
23	有識者		部会長②	金子 直美	出席
24				八木 正夫	欠席
25				本野 直子	出席

①は高齢者とともに築き支える地域づくり部会

出席者数 20人

②は子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

欠席者数 5人

第 1 1 5 回城山地区まちづくり会議 全体会次第

日 時 令和 7 年 3 月 1 8 日 (火)
午後 7 時から

会 場 城山総合事務所本館
2 階 B 会議室

1 開 会

2 代表あいさつ

3 議 題

(1) 市に対する質問事項等について . . . 資料 1 - 1 . 2

(2) 令和 7 年度の城山地区まちづくり会議開催日程等について . . . 資料 2 . 3

(3) 城山地区で具現化していく取組について (部会検討) . . . 資料 4
. . . 資料 5

(4) その他

4 閉 会

<次回の予定>

第 1 1 6 回全体会

4月24日(木) 午後 7 時

城山総合事務所
本館 2 階 B 会議室

市に対する質問事項等一覧

No	質問事項等	質問事項の詳細	担当課
1	地域住民主体による地域課題の解決に向けた担い手確保のための仕組みについて	住みよい城山地区を目指す上で、公共（行政）サービスの人手が少ないと思われる。公共サービスを補完する共助としての団体活動が求められているが、活動の担い手が不足しており、ムニシパリズムやコミュニティ・オーガナジングの活動、DAO（分散型自立組織）としての協働組合方式等の仕組みが必要と考えるが、市はどう考えるか。	市民協働推進課
2	自転車道の整備について	相模原市の立地環境やCO2削減の観点からも、最もエコな移動手段である自転車利用は最適であることから、移動効率を勘案した上で道路選定し自転車道を整備してほしい旨をまちづくり会議等を通して要望・提案した結果、国道16号線側道部が整備され、現在、安全・安心に利用されている。その際、城山地区においても、通勤時の県道43号線の渋滞緩和等も鑑みて橋本駅始め緑区役所等への移動手段に足る自転車道の整備も同時に要望・提示した。しかし、前述の未来への一歩に停まっているのが現状である。 今年度報告された令和7年度緑区観光振興プログラムの実施予定内容には「サイクルツーリズムの推進」が提示されているが、利用者の事故防止の観点からの罰則規定を強化するのみならず、同時に利用者の安全・安心な通行をも重視した自転車道の整備は必至と考える。 また、圏央道から国道16号線に至る長竹川尻線・小道道路等のように拡幅された歩道については、歩行者と自転車の通行別指定整備をする等、城山地区発信で市全域へと、市民生活密着と共に外から呼び込めるよう、適正かつ効果的な道の選定による自転車道の整備に取り組むよう要望する。 相模原市総合計画の「施策22 安心して移動できる地域交通の形成」においても、自転車道の整備延長等による自転車利用環境の整備が定められているため、現状と方向性を教えていただきたい。	道路計画課
3	歩道の整備について	歩行者の安心・安全な通行を考えた際、鍛冶谷相模原線（県道48号）の向原交差点から久保沢・川尻交差点の歩道について、昨今の急激な大型車両の通行増加と共に、バスも運行され、加えて住宅が近接して建てられているという何重もの危険性を抱える現状にある。しかしながら、東側は飛石状態で、また、西側は全般的に狭いままの歩道であり、今後、大事故が発生する前に、可及的速やかに歩道拡幅に取り組んでいただきたい。 さらには災害時の防災の観点から等鑑みても必要な拡幅と考えられ、長年放置されたままなのは如何なる理由なのか。	道路計画課

市に対する質問事項の回答について

1	質問事項等
	地域住民主体による地域課題の解決に向けた担い手確保のための仕組みについて
	質問事項の詳細
	住みよい城山地区を目指す上で、公共（行政）サービスの人手が少ないと思われる。公共サービスを補完する共助としての団体活動が求められているが、活動の担い手が不足しており、ムニシパリズムやコミュニティ・オーガナイズの活動、D A O（分散型自立組織）としての協働組合方式等の仕組みが必要と考えるが、市はどう考えるか。
	回 答
	コロナ禍以降における生活様式の変化等により、さらに地域コミュニティのつながりの希薄化が進んでいる中で、質問事項に挙げられているようなまちづくり手法を取り入れるのは効果的であると考えております。 一方で地域の特徴や状況に応じて、それぞれに最適な手法を取り入れることが必要だと考えております。 本市では、各地区にまちづくり会議を組織していただき、地域課題の集約や課題解決に向けた取組を検討していただいているところです。 まちづくり会議をはじめとする地域の皆様と行政が協力、協働して、より効果的なまちづくりのための手法を選択し、実行していくことが重要であると認識しております。

2	質問事項等
	自転車道の整備について
	質問事項の詳細
	相模原市の立地環境やＣＯ２削減の観点からも、最もエコな移動手段である自転車利用は最適であることから、移動効率を勘案した上で道路選定し自転車道を整備してほしい旨をまちづくり会議等を通して要望・提案した結果、国道１６号線側道部が整備され、現在、安全・安心に利用されている。その際、城山地区においても、通勤時の県道４３号線の渋滞緩和等も鑑みて橋本駅始め緑区役所等への移動手段に足る自転車道の整備も同時に要望・提示した。しかし、前述の未来への一步に停まっているのが現状である。 今年度報告された令和７年度緑区観光振興プログラムの実施予定内容には「サイクルツーリズムの推進」が提示されているが、利用者の事故防止の観点からの罰則規定を強化するのみならず、同時に利用者の安全・安心な通行をも重視した自転車道の整備は必至と考える。 また、圏央道から国道１６号線に至る長竹川尻線・小道道路等のように拡幅された歩道については、歩行者と自転車の通行別指定整備をする等、城山地区発信で市全域へと、市民生活密着と共に外から呼び込めるよう、適正かつ効果的な道の選定による自転車道の整備に取り組むよう要望する。 相模原市総合計画の「施策２２ 安心して移動できる地域交通の形成」においても、自転車道の整備延長等による自転車利用環境の整備が定められているため、現状と方向性を教えていただきたい。
	補 足
	●具体的な要望箇所 ①【神奈中バス発着場（原宿五丁目バス停）から橋本駅南口まで】 《橋本駅西口線》 ②【川尻交差点から橋本五差路】 《水道路→長竹川尻線・相原大山線》 ③【国道４１３号線】 《橋本郵便局から城山地区・津久井地区》
	回 答
	本市では、「相模原市自転車活用推進計画」に基づき、優先整備箇所を設定し自転車通行環境の整備を進めております。 ご要望の箇所のうち、市道橋本駅西口の西橋本五丁目交差点から橋本駅南口交差点までの区間については優先整備箇所に位置づけており、自転車の通行位置を示す矢羽根型路面表示等の整備を行っております。その他の区間については優先整備箇所の位置づけがなく、現時点では整備の予定はございません。 自転車通行環境整備の現状及び方向性につきましては、鉄道駅や公共施設へのアクセス路線等を中心とした優先整備箇所の整備を進めているところであり、引き続き整備を進めるとともに、その他の交通安全上課題のある箇所については、必要な安全対策を検討してまいります。

3	質問事項等
	歩道の整備について
	質問事項の詳細
	歩行者の安心・安全な通行を考えた際、鍛冶谷相模原線（県道 48 号）の向原交差点から久保沢・川尻交差点の歩道について、昨今の急激な大型車両の通行増加と共に、バスも運行され、加えて住宅が近接して建てられているという何重もの危険性を抱える現状にある。しかしながら、東側は飛石状態で、また、西側は全般的に狭いまの歩道であり、今後、大事故が発生する前に、可及的速やかに歩道拡幅に取り組んでいただきたい。 さらには災害時の防災の観点から等鑑みても必要な拡幅と考えられ、長年放置されたままなのは如何なる理由なのか。
	回 答
	本市では、選択と集中による持続的な道路整備に取り組むため、令和 4 年 3 月に今後 10 年間で整備すべき優先整備箇所を定めた「第 2 次相模原市新道路整備計画」を策定し、道路整備を進めております。 ご要望の箇所につきましては、優先整備箇所に位置付けがないことから、現時点では整備の予定はございませんが、交通安全上課題のある箇所については、必要な安全対策を検討してまいります。

令和7年（2025）年度城山地区まちづくり会議の開催日程

作成：令和7年3月5日

1 全体会

回 次	月	日 時（予定）	内 容	主な内容（予定）	場 所	備 考
第116回	4月	24日（木）午後7時	全体会	・R7地域活性化事業交付金事業意見聴取について	城山総合事務所 本館2階B会議室	
第117回	5月	29日（木）午後7時	全体会	・まちづくり会議について ・R7まちづくりを考える懇談会のテーマについて ・具現化していく取組について（部会検討）		
第118回	7月	31日（木）午後7時	全体会	・R7まちづくりを考える懇談会のテーマについて ・具現化していく取組について（部会検討）		
第119回	9月	25日（木）午後7時	全体会	・R7まちづくりを考える懇談会のテーマについて ・具現化していく取組について（部会検討）		
第120回	11月	27日（木）午後7時	全体会	・R7まちづくりを考える懇談会のテーマについて ・具現化していく取組について（部会検討）		
			まち懇	・R7城山地区まちづくりを考える懇談会	城山公民館 1階大会議室	
第121回	1月	29日（木）午後7時	全体会	・R7城山地区まちづくりを考える懇談会の振り返り ・具現化していく取組について（部会検討）	城山総合事務所 本館2階B会議室	
第122回	3月	19日（木）午後7時	全体会	・R8開催日程について ・具現化していく取組について（部会検討）		

2 専門部会

基本的に全体会と同時開催。ただし、必要に応じ別途開催する。

令和 7 年 月 日

城山地区まちづくり会議 代表 殿

団体名

代表者職氏名

連絡先電話番号

城山地区まちづくり会議委員の変更について（報告）

標記のことについて、次のとおり委員変更となったので報告します。

（変更前の委員）

	ふりがな 氏 名	性別	住 所	電話番号	変更日
1					

（変更後の委員）

	ふりがな 氏 名	性別	住 所	電話番号	変更日
1					

※変更がある場合は、4 / 1 5（火）までにご提出ください。

高齢者とともに築き支える地域づくり部会 検討事項

1 おせっかいスゴロクについて

- ・意見
- ・配布方法
- ・その他

2 しろやま☆おせっかいの今後について

子どもたちの主体性を育む地域づくり部会 検討事項

1 臨時部会の結果について

○令和7年2月26日に臨時部会を開催し、地域活性化事業交付金の申請書類の案を元に、必要な予算等の内容検討を行った。

《 主な意見 》

- ・来年度も今年度と同様にモルックを通じた子どもたちの交流の場を設け、子どもたちには事業の計画や運営にも携わってもらおう。
- ・今年度は事業実施は1日だけであったが、来年度は2日実施することとし、5月17日（土）と11月15日（土）に川尻小で開催することとする。1回目の5月はモルック体験会とし、2回目の11月に今年度と同様の規模、内容で実施することとし、そこで子どもたちにも計画・運営に携わってもらおう。
- ・1回目のモルック体験会は事前申込みなし、地域情報紙とポスターによる周知のみとする。
- ・対象者は小学生に限らず、中高生や大人など幅広く参加を募った方が良い。

○臨時部会で出た意見を基に、地域活性化事業交付金の申請書類の案を修正し、その内容を次回のまちづくり会議で検討することとなった。

2 令和7年度地域活性化事業交付金申請（案）について

（1）事業計画（案）

（2）収支予算（案）

地域活性化事業計画書（案）

○申請者

団体名

城山地区まちづくり会議 子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

代表者の役職及び氏名

部会長 金子 直美

代表者の住所又は所在地

相模原市緑区久保沢 1－3－1

担当者連絡先 事務局：城山まちづくりセンター Tel：042-783-8117

（氏名、電話番号、FAX番号、電子メール）

○事業名（事業の名称を記載してください。）

あつまれ～ しろやまっこ！

○事業実施の背景や地域の現状と課題（地域で困っていることや活性化が必要なことなど、事業を実施することとなった背景事情を記述してください。）

かつて、子どもたちの社会性の基礎となる「人との関わり」は、近隣の子ども同士の交流や、家庭の中でのきょうだい同士の交流の中で、遊びを通して自然に身に付いてきた。大きい子どもは小さな子どもをいたわり、守る。小さな子どもは大きな子どもに感謝し、憧れる。そんな関わりの中で、ゆっくりと育まれてきた。

しかしながら、地域の人間関係の希薄化が進み、近所づきあいや親戚づきあいも減少し、少子化によってきょうだい数や地域の子どもの数が減ってくる中で、子どもたちが「人と関わる」ことに自然に慣れ、「人と関わりたい」という思いを自然に感じとっていき、そんな場も機会も失われてきているように感じられる。

こうした状況の中、城山まちづくり会議では部会を設置し、「子どもたちの主体的・自主的な取り組みを通して子どもたちの異年齢・世代間の交流を図り、それにより子どもたちの社会性や主体性を育んでいけるような地域づくり」をテーマに検討を進めてきた。

○事業の目的（事業の実施により達成しようとする目的を記述してください。）

近年、少子化の進行による子どもの減少に伴い、地域での同年齢・異年齢のさまざまな子ども同士のふれあいが少なくなり、地域における多様な子ども集団の形成が難しく、城山地区のほとんどの地域は育成会の活動が縮小傾向にあり、子どもの社会性などの育成面で困難な状況が生じている。

このような状況下において、子どもたちが参加しやすい事業を実施することにより世代間・地域間交流を進めると共に子どもたちの意欲を引き出し、より主体的に活動できるような仕組みづくりを目的とする。

○事業内容（当該事業の具体的な内容を記述してください。）

城山地区の小学生を対象に、城山地区子ども会育成連絡協議会と協力・連携をして、モルック等の遊びやスポーツを通じて子どもたちが集まり交流できる場を設け、子どもたちから出される意見を聞きながら、子どもたちの主体性や社会性を育むことができる事業を実施する。

○事業スケジュール（実施の時期と内容を記入してください。）

実施時期	実 施 内 容	備 考
4 月	あつまれ～ しろやまっこ！の実施方法の検討 参加者募集チラシ配付方法の検討	
5 月	モルック体験会開催 川尻小学校グラウンド（予定）	
6～9 月	あつまれ～ しろやまっこ！の実施方法の検討	
10 月	地域情報紙で広報、参加者募集のチラシ配付	
11 月	あつまれ～ しろやまっこ！開催 川尻小学校グラウンド（予定）	
12 月	事業の振り返り、検討	

○次年度以降の事業計画及び事業展望（次年度以降の事業計画、事業の拡大、他の地域や他団体への広がりなどを記述してください。）

- ・次年度以降、子どもたちの主体性が発揮される事業を検討し、実施する。
- ・将来的に、城山地区全体で「育成会」や「子ども会」が復活、活性化され、今回共催する「城山地区子ども会育成連絡協議会」が城山地区全体の子どもたちが多数参加する組織となるよう助力する。

○総事業費

- ・予算総額：105,000円 ・(内交付金申請見込額)：105,000円

○事業実施の背景や地域の現状と課題をどのように捉えたか（当該事業の実施が必要な状況の発生源にチェックしてください。複数回答可能。）

- ☒ 自己認識（自分でそう感じている）
☒ 話し合い（地域の複数人がそう感じている。）
☐ 調査（アンケート調査や聞き取り調査を行った。）
☐ 先進事例（他地域や他市町村等で取り組まれている。）
☒ 社会的課題（ニュースや新聞等で話題になっている。）
☐ その他（内容： ）
- 検討経過や調査、研究の内容、先進事例などの具体的内容：

○交付金の対象事業（交付金の対象となる事業のうち、どの項目に該当すると考えているかチェックしてください。）

- ☐ 地域の防災・防犯に関する事業
- ☐ 地域の保健・健康づくりの増進に関する事業
- ☒ 地域福祉の増進に関する事業
- ☐ 産業や観光の振興に関する事業
- ☐ 環境の保護・保全に関する事業
- ☒ 青少年の健全育成に関する事業
- ☐ 地域の文化・伝統の振興に関する事業
- ☐ 生涯学習に関する事業
- ☐ 地域及び地域活動の情報発信及び広報に関する事業
- ☐ 区が推進する重点事業

☐ その他地域のコミュニティづくりを目的とし、区長が特に認める事業

○事業の状況（新規事業か既存事業のリニューアルかチェックしてください。）

☐ 新規 ☒ 既存 ☐ 既存事業の拡大

過去の地域活性化事業交付金の交付状況： ☒ 有（交付年度 令和6年度）・ ☐ 無

他の市の補助制度の交付状況： ☐ 有（交付年度 年）・ ☒ 無

○重点項目（当該事業が要綱の優先的な対象事業に該当する場合は、その項目にチェックし、具体的な内容を記述してください。）

☐ 自治会加入促進

具体的内容：

☐ 地域における公共的な活動の担い手育成

具体的内容：

☐ 公共的な活動への参加者増加

具体的内容：

☐ 地域の公共的な活動団体間の連携強化

具体的内容：

☒ まちづくり会議が提示した地域課題の解決

具体的内容：

平成30年度から城山地区まちづくり会議において、子どもたちが主体性を持って地域に関われる仕組みづくりについて検討が行われ、子どもたちを集めて行う事業を計画し、実施することとなった。

○事業実施及び結果の情報発信方法（該当する項目にチェックしてください。複数回答可能。）

☒ 地域情報紙 ☐ 団体の会報など ☐ 団体のホームページ ☐ 新聞等への情報提供

☒ その他（自治会回覧等）

○その他（事業の実施体制や役割分担、事業実施上の課題などがあれば、記入してください。）

令和7年度 収支予算書（案）

1 収入の部

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (A) — (B)	説 明
市交付金	105,000円	108,000円	△3,000円	地域活性化事業交付金
収 入 合 計	105,000円	108,000円	△3,000円	

2 支出の部

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (A) — (B)	説 明
一般経費	105,000円	108,000円	△3,000円	
報償費	19,000円	40,000円	△21,000円	看護師謝礼 10,000円 協力者謝礼 9,000円
消耗品費	25,000円	23,000円	2,000円	事務用品等 20,000円
印刷製本費	11,000円	11,000円	0円	チラシ印刷 7,000円 ポスター印刷 4,000円
食糧費	11,000円	9,000円	2,000円	参加者食糧費 11,000円
委託料	30,000円	20,000円	10,000円	汁物提供委託 20,000円 チラシ作成委託10,000円
備品借上料	5,000円	5,000円	0円	ガスコンロ 5,000円
保険料	3,000円	0円	3,000円	傷害保険料 3,000円
手数料	1,000円	0円	1,000円	決済手数料 1,000円
特別経費	0円	0円	0円	
支 出 合 計	105,000円	108,000円	△3,000円	

※特別経費：交付対象経費のうち1万円を超える財産を購入する場合は、この欄に記入